

# 海外インフラ展開人材養成プログラム ～ 令和2年度 開催概要 ～

## (web 会議システムでのオンライン研修)

---

### ■プログラム設置の背景

- 人口減少や少子高齢化が進む我が国において、海外の旺盛なインフラ需要を取り込むことは成長戦略の柱となっており、政府ではインフラシステム輸出を推進している。
- 一方で、海外のプロジェクトにおいては契約制度、商慣習、技術規格や思想の違いなど、様々なリスクも存在、プロジェクトを担うことができる人材が不足しており、人材養成が急務となっている。
- このような背景を踏まえ、海外インフラ展開に関わる産官学が連携し、令和元年9月に第1回「海外インフラ展開人材養成プログラム」を開催。

### ■プログラムの概要

海外において、鉄道や道路などの交通事業や上下水道等のインフラプロジェクトを担う建設コンサルタント、コントラクター、事業者、官公庁等の技術系・事務系の人材を対象として、海外インフラプロジェクトに関して経験豊富な実務経験者や学識者等が講師となり、世界各国のプロジェクトの現場で活躍できる基礎的能力を付与することを目指して実施する。

### プログラムの目標

- ・海外でインフラ事業を展開する際の基礎知識の習得
- ・実務者の経験に基づく実践的な演習を通じた課題解決スキルの習得
- ・様々な業種の人材が参加・交流することによる俯瞰的で広い視点の獲得及びネットワークの構築

### 受講対象者

政府系機関、建設コンサルタント、コントラクター、インフラ事業者等の職員で今後海外インフラ事業に関する業務を担当する予定の者（技術系、事務系不問）

### 研修実施体制

主催：一般社団法人 計画・交通研究会

監理運営：海外インフラ展開人材養成プログラム運営委員会 ※次ページ参照

事務運営：八千代エンジニアリング株式会社

後援：国土交通省

国立大学法人 政策研究大学院大学

国立大学法人 東京大学 大学院工学系研究科

協力：公益社団法人 土木学会

一般社団法人 国際建設技術協会

## プログラムの内容

### プログラムの全体構成 ※令和2年度のプログラム案は次ページ参照

- 海外インフラ展開一般
- プロジェクトの案件形成、プロジェクトサイクル
- プロジェクトの実務（ファイナンス、契約、プロジェクトマネジメント、リスク対応）
- スコープを拡張する有識者による講義

### プログラムの形式

- 実務的な知識を学ぶ講義
- 実践的な演習やケーススタディ（グループワーク）
- 社会経済文化的な知見を学ぶスコープ拡張講義

## 令和2年度 開催概要

### 研修期間

令和2年9月14日（月）～9月18日（金） 平日5日間

※一部の講義について、9月7日（月）から録画された講義の視聴プログラムを実施予定

### 会場

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全期間 web 会議システムでのオンライン方式

※令和3年3月31日までの間、集合イベントの実施が可能になれば、別途会費制の懇親会等の集合イベントを開催予定

### 定員

35名

### 受講料

150,000円（テキスト代含む、消費税別）

### 募集開始

令和2年7月30日～（予定）

※募集要領は、計画・交通研究会のホームページに掲載します

### ※ 海外インフラ展開人材養成プログラム運営委員会

委員長	政策研究大学院大学 教授	家田 仁
相談役	東日本高速道路(株) 代表取締役 専務執行役員	森 昌文
副委員長	東京大学 教授	小澤 一雅
〃	国土交通省 技監	山田 邦博
〃	国土交通省 海外プロジェクト審議官	平井 秀輝
〃	日本工営(株) 参与 電力事業本部技師長	作中 秀行
〃	鹿島建設(株) 海外土木事業部 特別参与	田中 利春
〃	東日本旅客鉄道(株) 副社長 国際事業本部長	中井 雅彦
特別顧問	政策研究大学院大学 教授	森地 茂
〃	日本工営(株) 相談役	廣瀬 典昭

この他、国土交通省、国際協力機構、日本コンサルタンツ、東日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)、日本工営(株)、八千代エンジニアリング(株)、(株)リエンタルコンサルタンツグローバル、鹿島建設(株)、清水建設(株)、五洋建設(株)、(株)大林組、大成建設(株)、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、成田国際空港(株)、日本空港ビルディング(株)の委員から構成

## ●プログラム案（令和2年度 調整中）

講義名	講師（予定）	
<b>■スコープ拡張講義</b>		
視野の拡張と自己相対視	政策研究大学院大学	家田 仁
国際政治と海外インフラビジネス	政策研究大学院大学	田中明彦
「空間」から読み解く世界史（仮）	元北海道教育大学	宮崎正勝
比較宗教の視点から世界を見る	東京大学	藤原聖子
契約観・訴訟観の国際比較	西村あさひ法律事務所	梅林 啓
ユーラシアダイナミズムをどう読むか	多摩大学	寺島実郎
<b>■海外インフラ展開一般</b>		
国際プロジェクト論	東京大学	小澤一雅
インフラシステム海外展開	国土交通省	川村謙一
ODA	国際協力機構	調整中
<b>■案件形成、プロジェクトサイクル</b>		
プロジェクト組成、案件形成（グループディスカッション）	日本工営(株)	深沢信一
<b>■プロジェクト実務</b>		
<b>・ファイナンス</b>		
事業費積算、経済分析（講義、演習）	八千代エンジニアリング(株)	堀井俊明
インフラプロジェクトのスキームとファイナンス （グループディスカッション）	アジア開発銀行研究所	K. E. シータラム
<b>・契約</b>		
契約概論	八千代エンジニアリング(株)	二宮康郎
<b>・マネジメント</b>		
プロジェクトマネジメント概論	日本工営(株)	高橋義和
海外インフラプロジェクト実務概論	鹿島建設(株)	高瀬健三
三者関係（ケーススタディ）	日本工営(株)	西野 謙
契約（クレーム、EOT、Variation等）（ケーススタディ）	株式会社エンタルコンサルタンツグローバル	星 弘美
<b>・リスク対応</b>		
リスクマネジメント（抽出）（グループディスカッション）	鹿島建設(株)	大西一宏
ケーススタディ～東南アジア某国の事例～	(株)大林組	萩原正雄
リスクマネジメント（対応）（グループディスカッション）	鹿島建設(株)	大西一宏
<b>■事例紹介</b>		
ベトナムにおけるまちづくり	東急(株)	古川卓
海外鉄道プロジェクトと日本の経験・技術の活用	日本コンサルタンツ(株)	秋山芳弘
新ウランバートル国際空港供用に向けた技術支援から見た成功例と課題	成田国際空港(株)	山本裕
インドの建設プロジェクトの現状 ～インド・メトロ事業を例に取って～	株式会社エンタルコンサルタンツグローバル	阿部玲子
建築業界における海外案件（仮）	(株)日建設計	田中互
海外インフラ PPP 事業者のリスクマネジメント	二宮技術士事務所	二宮孝夫

## 令和元年度実施プログラムの概要

### 日程：

令和元年9月2日～13日（平日10日間）

### 受講者：

29名 ※平均年齢36歳（29～45歳）

（コントラクター等9名、建設コンサルタント7名、  
インフラ事業者7名 政府系機関 2名、  
政府機関（オブザーバー）4名



### カリキュラム：

	講義名	講師 ※敬称略
基調講義	・歴史から学ぶ国際プロジェクト	日本工営(株) 廣瀬 典昭
特別講義	・価値観の多様性と自らを相対視する勇氣	政策研究大学院大学 家田 仁
	・通説を疑ってみる勇氣	
	・契約観・訴訟観の国際比較	学習院大学 大村 敦志
	・比較文化・比較宗教の視点	東京大学 杉田 英明
	・国際政治と海外インフラビジネス	政策研究大学院大学 田中 明彦
	・ユーラシアダイナミズムをどう読むか	多摩大学 寺島 実郎
基幹講義	・国際プロジェクト論	東京大学 小澤 一雅
	・ODA	国際協力機構 小島 岳晴
	・プロジェクト概論、ODA	国際協力機構 金 哲太郎
	・インフラシステム海外展開	国土交通省 川村 謙一
	・ファイナンス論	みずほ総合研究所 寺村 隆男
	・契約概論	八千代エンジニアリング(株) 二宮 康郎
	・プロジェクトマネジメント概論	日本工営(株) 高橋 義和
	・海外インフラプロジェクト実務概論	鹿島建設(株) 高瀬 健三
	・異文化理解	五洋建設(株) 松本 英嗣
	・異文化理解	五洋建設(株) Ong Ai Bin
応用講義	・事業費精算、経済分析	八千代エンジニアリング(株) 堀井 俊明
	・海外プロジェクトにおける文書作成・管理	清水建設(株) 松田 道雄
プロジェクト講義	・異業種チームによる新ビジネスへの挑戦	パシフィックコンサルタンツ(株) 玉木 宏忠
	・異業種チームによる新ビジネスへの挑戦	(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル 加藤 宏承
	・ケーススタディ「東南アジア某国の事例」	(株)大林組 萩原 正雄
	・海外鉄道プロジェクトと日本の経験・技術の活用	日本コンサルタンツ(株) 秋山 芳弘
	・新モンゴル国際空港供用に向けた技術支援から見た成功例と課題	成田国際空港(株) 吉田 典史
	・海外インフラ PPP 事業者のリスクマネジメント	二宮技術士事務所 二宮 孝夫
グループワーク ディスカッション	・契約（クレーム、EOT、Variation等）	(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル 星 弘美
	・リスクマネジメント（抽出・対応）	鹿島建設(株) 大西 一宏
	・インフラプロジェクトのスキームとファイナンス	アジア開発銀行研究所 K. E. シータラム
	・プロジェクト形成、案件形成のグループディスカッション	日本工営(株) 渡辺 昭文
グループワーク ケーススタディ	・三者関係のケーススタディ	日本工営(株) 西野 謙
	・契約（基礎）	(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル 山内 順
	・紛争解決	大成建設(株) 傳 暁

### 受講生を対象にしたアンケート結果：

⇒9割以上が「本プログラムに満足」、「人的ネットワークが形成できた」との回答